

令和3年度（2021年度）
学校関係者評価 報告書

学校法人難波学園
横浜栄養専門学校

作成日 令和4年3月

令和3年度の学校関係者評価委員会を開催しました。自己点検評価をもとに昨年度からの改善点、今後の課題についてご意見を頂きました。また、企業への就職後の事例などから、在学中に行う指導についてなども意見交換を行いました。

1 日時 令和4年3月2日(水) 14:00～

2 場所 横浜栄養専門学校 第1校舎

3 次第

1. 横浜栄養専門学校 校長挨拶
2. 学校評価会議
3. 横浜栄養専門学校 校長総評

4 配布資料

「令和3年度自己点検評価結果及び課題と今後の改善について」

5 参加者

学校評価委員

株式会社 レパスト	執行役員第一営業部長	川畑昌彦
株式会社 天柳	総務部長	伊志嶺繁
株式会社 安田物産	総務部副部長	天野一

学校法人難波学園

横浜栄養専門学校	校長	久島昌平
横浜栄養専門学校	庶務課長	長谷川直之
横浜栄養専門学校	教務課長	谷原暢子

点検項目

教育目標	1
教育活動「教育課程」	2
「教育課程の実施」	3
「学習指導・評価」	4
「テキスト・教材」	5
「研修」	6
学生支援	7
施設・設備	8
安全管理・防災	9
法令等の遵守	10

※普通(3.0)評価未滿については、今後の改善について記載した。

教育目標 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価				
		十分	← 普通	→	不十分	
		5	4	3	2	1
教育 目 標	①教育の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0				
	②教育の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.6				
	③教育目標・教育計画はその達成の程度を評価するシステム(計画・実施・評価)が確立されているか	3.4				

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

教育活動「教育課程」 評価と今後の改善方法

		評価項目	自己評価				
			十分	←	普通	→	不十分
			5	4	3	2	1
教育活動	教育課程	①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.8				
		②教育課程の編成にあたっては社会や就職先の要望が反映され、社会情勢の変化に柔軟に対応しているか	3.7				
		③教育課程の編成にあたっては職業人としてのマナーやしつけ教育などに配慮しているか	3.8				

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

教育活動「教育課程の実施」 評価と今後の改善方法

		評価項目	自己評価				
			十分	← 普通	→	不十分	
			5	4	3	2	1
教育課程の実施	①授業科目の学年進行や時間配当は適当であるか		4.1				
	②教員の持ち時間は過重にならないようにほぼ平均化されているか		3.3				
	③授業人数は基準のとおりであり、授業形態に少人数指導、習熟度別指導が導入されているか		3.4				
	④2学期制は教育活動に合致しており、長期休業や授業計画・各種行事と連動して機能しているか		4.0				
	⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか		2.9				

1 課題

⑤学校評価委員会の開催などで改善がみられるが、コアカリキュラムが定められているため、大幅な変更はできない。

2 今後の改善方法

⑤取り入れられる意見については、積極的に改善を検討する。

3 特記事項

⑤本日の会議を含め、皆様からの具体的意見があれば伺いたと思います。

学校関係者評価委員より

⑤コアカリキュラムが決まっていて大幅な変更ができないのであれば、点検項目自体の見直しが必要なのではないか。例えば関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携が図れているか、に重点を置いたらどうか。→次年度は項目を精査し、対応したい。

教育活動「学習指導・評価」 評価と今後の改善方法

		評価項目	自己評価				
			十分	← 普通	→	不十分	
			5	4	3	2	1
学習指導・評価	①授業計画書(シラバス)を作成し、学生に配布して年間学習指導計画を示しているか		4.9				
	②学生の授業アンケートや授業研究の評価を生かした学習指導を行なっているか		3.1				
	③成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか		4.4				
	④学生に対する各種ガイダンスを実施しているか		4.4				
	⑤成績会議は有効、適切に機能しているか		4.2				
	⑥授業評価の実施・評価体制はあるか		3.1				
	⑦職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか		3.4				
	⑧退学率の低減が図られているか		4.1				

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

②及び⑥については、昨年度より評価が向上した。ただし統一した授業アンケートや評価方法を行ってはいない。

教育活動「テキスト・教材」 評価と今後の改善方法

		評価項目	自己評価				
			十分	← 普通	→	不十分	
			5	4	3	2	1
	テキスト・教材	①テキストは理解しやすく学習目標の達成に合ったものになっているか	3.9				
		②新しい情報がもり込まれるなど実践に即した内容になっているか	3.8				

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

教育活動「研修」 評価と今後の改善方法

		評価項目	自己評価				
			十分	← 普通	→	不十分	
			5	4	3	2	1
研修		①「学生による授業評価」を実施しているか	2.4				
		②「授業研究」を実施しているか	2.4				
		③「教職員・教員・新任教員各研修会」を実施しているか	3.3				
		④関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みがおこなわれているか	2.6				

1 課題

- ①個別で実施している教員もいるが、統一されていない。
 ②統一した授業研究は実施していない。
 ④コロナの影響で学外研修が減少している。対策として学内研修を実施したが、テーマ、講師の選定が課題である。

2 今後の改善方法

- ①実施に向けたフォーマットの作成を検討する。
 ②授業研究の実施を検討する。
 ④学内研修制度を計画的に実施し、活性化を図る。

3 特記事項

学校関係者評価委員より

- ①個別で対応している教員がいるとのことだが、評価結果をどのように活用し反映しているのか。実施しているかだけでなく、その結果をどう扱っているかを評価した方が建設的ではないか。
 →授業研究については、専門科目が多く非常勤講師に対しての対応等、実施が難しい点もあるが、できる範囲で実施していく。④については今年度2回実施したが、今後は計画的に回数を増やし、職員のプレゼン能力の向上を目指す。将来的には企業の皆様にも講師として、給食現場についても講義をお願いしたいと考えている。

学生支援 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価				
		十分	← 普通	→	不十分	
		5	4	3	2	1
	①クラス担任制による生活指導が行なわれているか	4.4				
	②学生が悩んだり、困ったりしたときに、気軽に相談に相談にのっているか	4.5				
	③学校生活不適應、学業不振、問題行動などの早期発見、早期指導の組織体制が整っているか	4.4				
	④学生相談(カウンセリング)体制が整備され、指導が有効に機能しているか	2.6				
	⑤就職試験対策等の授業が行なわれているか	3.3				
	⑥就職のための模擬面接が行われているか	3.1				
	⑦就職のための個人指導が行なわれているか	4.3				
	⑧大学等進学希望者のための指導が行なわれているか	3.2				
	⑨求人開拓のための活動が行なわれているか	3.6				
	⑩学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.5				
	⑪保護者と適切に連携しているか	4.1				
	⑫卒業生への支援体制はあるか	4.4				

1 課題

④姉妹校・横浜調理師専門学校において、スクールカウンセラーによるカウンセリングを受けることが可能であることが周知不足であった。

2 今後の改善方法

④周知を徹底する。

3 特記事項

学校関係者評価委員より

④周知されていないことがいくつかあるようなので、今後は周知の方法をしっかりと検討することが必要ではないか。

→周知の方法を検討する。

施設・設備 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価				
		十分	← 普通	→	不十分	
		5	4	3	2	1
施設・設備	①学習目標を達成し、技能を身につけるための実習室(実験室)が整備され適切に活用されているか	3.8				
	②学習目標を達成し、技能を身につけるための視聴覚教材・情報機器が整備され適切に活用されているか	2.6				
	③学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.1				
	④図書室は学習目標を達成させるための図書が備えられ、適切且つ十分に活用されているか	3.2				

1 課題

②学生が利用できるパソコンの数が少ない。

2 今後の改善方法

②計画的にパソコンを購入していくことを検討する。

3 特記事項

③及び④については、昨年度より改善した。

学校関係者評価委員より

今後計画的にパソコンを購入していく事を検討するとのことだが、それは就職活動のためなのか、それとも栄養士の業務上使えるようにするためなのか。

→就職活動用の物は就職相談室に設置してある。業務上使えるようにすることを目標としている。

学校関係者評価委員より

栄養士は現場でパソコンが使えない人が多い。少なくともエクセル程度は使えないと、業務上差し支えることがあるので、パソコンに触れる機会を増やし、恐れずに使えるよう指導して頂きたい。

→スマホには慣れていますが、家庭でパソコンを使用する機会が少ない学生が多くなってきている。今後授業に取り入れて、触れる機会を増やしていく事を検討する。

安全管理・防災 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価				
		十分	← 普通	→	不十分	
		5	4	3	2	1
安全管理・防災	①校内施設設備の安全点検を定期的を実施し、不備な箇所は改善をしているか	3.2				
	②学校の実態に応じた危機管理マニュアルを作成し、緊急時に的確に対応できる体制が整っているか	2.9				
	③不審者の侵入による緊急事態に備えた訓練を実施し、その反省を活かせるようになっているか	3.4				
	④防災に対する体制は整備されているか	3.1				

1 課題

②マニュアルはあるが、周知が不足している。

2 今後の改善方法

②マニュアルの周知を行う。

3 特記事項

学校関係者評価委員より
周知の方法までしっかり踏み込んだ方がよいのではないか。
→しっかりと検討していく。

法令等の遵守 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価				
		十分	← 普通	→	不十分	
		5	4	3	2	1
法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.1				
	②個人情報を収集する際に、その収集の目的を明らかにして、必要な範囲で収集し、利用しているか	4.2				
	③個人情報の保護を行なうため統括責任者、管理者、担当者を配置し、適切な管理を行なっているか	3.6				
	④自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.5				
	⑤自己評価を公開しているか	3.6				

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

学校関係者評価委員による意見交換等

1 就職について

委員:新入社員が3ヶ月で退職し、その理由が「イメージと違った」とのことだった。何がイメージと違ったのか不明だが、就職指導の中で防ぐことはできないだろうか。

職員:学生の考えも個人差があるので、必要に応じてできる限り個別に対応している。ただ近年就職活動の時期が早まっているため、1年生は1月に就職の個人面談を行ったが、就職に対するイメージが付く前から就職活動に臨まなければならない状況にあるため、半数の学生はまだ具体的な方向性を決められていない。

委員:卒業生からの意見を在校生へフィードバックしたらよいのではないか。

職員:校外実習に向けての特別講義において、本校の卒業生により現場についての講義を行っている。また校外実習へ行ったことで実際の状況を知り、進路を具体化する学生も多い。

職員:今年度実施した企業説明会においても、参加企業からそれぞれの職場について説明して頂いた。社会との接点を多く作る事が大切だと考えている。

2 卒業生への支援について

委員:卒業生への支援はどのようなものか。

職員:管理栄養士国家試験対策の講習会や、卒業生向け就職支援を行っている。

委員:卒業生向け専用の求人票があるのか。

職員:特に用意はない。

委員:学生は卒業後も支援してもらえることを認識しているか。

職員:していると思うが、さらに丁寧に周知していく。

委員:卒業生同士の組織等はあるのか。

職員:特にない。

委員:コロナ禍で新入社員が孤立し、相談相手もおらず退職してしまうことがある。会社では対応しきれない場合もあるので、学校OB同士の交流の場があるとよいのではないか。

職員:昨年からは学生全員のメールを把握するようになったので、それを活用し、将来的には交流できるような場を検討したい。

職員:同じ学年の学生同士は、ラインやSNSなどを活用して交流を続けている。

委員:昨年までの就職状況と比べて、今年度は集団給食企業への割合が増えているが、理由はあるのか。

職員:以前は保育園などを希望する学生が多かった。最近は給与も高いが、必要とされるスキルも多いことを丁寧に説明した。校外実習などの影響もあり、医療機関への就職を希望する学生が増え、結果として集団給食企業が増加した。目的意識が高い学生ほど、医療機関勤務を希望する傾向が強い。